

シングルワンホール洗面混合栓

..... K47531EJ-RJ-TT

(寒冷地用 .. K47531EJ-RJ-TTC)

+eco

●施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

本製品について

各部の名称・寸法図

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

一般用

寒冷地用

●ストップバーは、シャワホースの引き出し長さを設定するためのものです。

●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意

..... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

..... 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

..... 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

..... 「分解してはいけません！」

..... 「指示した場所に触れてはいけません！」

..... 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意

修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。

故障や水漏れの原因になります。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や水漏れの原因になります。

湯水を逆に配管しないでください。

正常に作動しないため、やけどをすることがあります。

給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。

85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

同梱の部品以外は使用しないでください。

故障や水漏れの原因になります。

（寒冷地用の場合）

凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。

部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

（寒冷地用の場合）

水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工について

適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。

●給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。

●給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。

●本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について

施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について

梱包明細

●施工説明書・取扱説明書「保証書付」×各1

本体

六角レンチ（対辺3mm）×1

レバーの止めねじ用工具です。なくさないように保管してください。

レバー

止めねじ

キャップ

本体×1

座パッキン（本体に貼付済）

パッキン

菊座金

ロックナット

ホースガイド

ストップバー

クイックファスナー

抜け止めカバー

袋ナット

パッキン

※ キャップ

※ キャップはパッキン脱落防止用です。施工後は廃棄してください。

ホース接続金具（逆止弁・オーリング付）

■寒冷地用の場合

クイックファスナー

抜け止めカバー

接続金具

水抜ジョイント（逆止弁・オーリング付）

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

施工について

施工手順

主な工具類

■ ナット締付工具：水栓取付足のロックナットを回す時に必要です。

ロックナット対辺38mm

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。左記寸法と異なる場合があります。

■ スパナ・モンキーレンチなど：接続金具のナットや袋ナットが回せる工具。

■ 使い古しのハブラシなど：取付穴周囲などの掃除ができるもの。

■ 手袋：ケガ防止のために着用してください。

■ タオルなど：ケガ防止や水栓保護のために使用します。

■ ぞうきんなど：配管中の残り水を拭くのに使用します。

止水栓がドライバー式の場合に必要な工具

■ マイナスドライバー

A

古い水栓の取りはずし

※新設の場合は裏面 B に進んでください。

1

湯・水の止水栓を閉めます。

カウンター下の止水栓を右に回して止水します。

止水した後、水栓のレバーを開いて止水の確認をします。

② 止水の確認

マイナスドライバー

ドライバー式

※止水栓がない場合は、元栓を開めてください。

① 止水

止水栓

2

ナットを順番にゆるめて、古い水栓ははずします。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

使用する工具の例

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。

③

①

②

ロックナット

袋ナット

ナット

注意

●ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。

●湯側の残り湯にご注意ください。

B 新しい水栓の取付け

3 配管内の掃除をします。

注 意

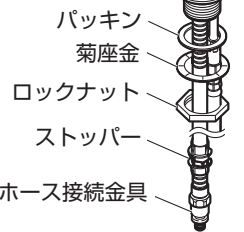
配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、**この場合には有償修理となります。**

4 新しい水栓を取付けます。

- (1) カウンター穴の寸法の確認を行ってください。

最小 5mm
最大 30mm
カウンター穴
φ35～38

- (2) ホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）とストッパーをはずし、本体からロックナット・菊座金・パッキンをはずします。



- (3) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。

注 意

レバーを右側から時計回りにゆっくり操作して、クリックに当たる位置が製品の正面です。



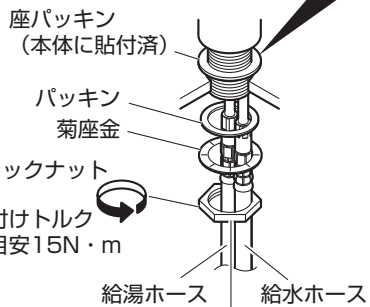
注 意

- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけて固定してください。
- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。
- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。



アドバイス

ロックナットを給水・給湯ホースに入れる際は、ホースをすらし入れてください。

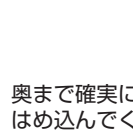


注 意

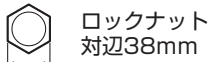
ホースガイドの抜け注意
施工時にホースガイドが抜けている場合は、取付足にはめ込んでください。シャワヘッドがスムーズに引き出せない事があります。

ホースガイド

■ 取付後



ナット締付工具
SAN-EI品番：
PR357
(ナット締付工具)



注 意

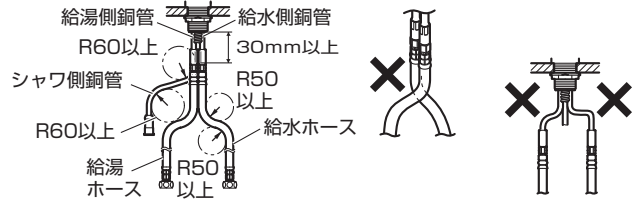
- 取付時にレバーやシャワ受など可動部分を持たないでください。破損のおそれがあります。
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

注 意

銅管・ホース施工上の注意点

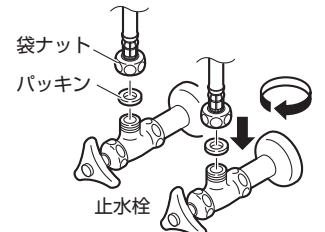
※下記注意事項は必ず守ってください。銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

- シャワ側銅管は取付足端面から30mm以上のストレート部を確保して、その位置から曲げてください。給水・給湯側銅管は曲げないでください。
- 銅管の最小曲げ半径は60mm、ホースの最小曲げ半径は50mmです。銅管・ホースを極端に屈曲しないでください。
- 銅管・ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。摩耗による外傷で銅管・ホースの性能劣化の可能性があります。



5 給水・給湯ホースを取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから、止水栓などに固定してください。



注 意

- 袋ナットは、ゆるみがないように確実に締めてください。袋ナットが確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

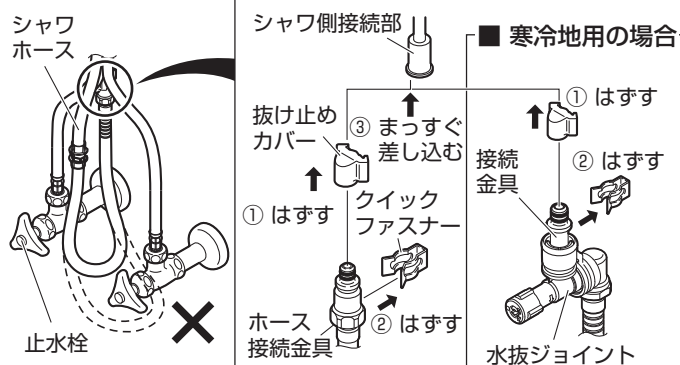
※ 締付けトルクの目安：24.5N・m

6 シャワホースを接続します。

- (1) ホース接続金具（寒冷地用は接続金具）の抜け止めカバーとクイックファスナーをはずし、シャワ側接続部にホース接続金具（寒冷地用は接続金具）をツバ部のすき間がなくなるまで差し込んでください。

注 意

- ホース接続金具（寒冷地用は接続金具）のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。

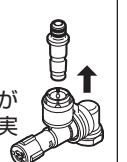


注 意

シャワホースは、止水栓などに引っ掛からないよう、給水・給湯ホースの後ろ、止水栓などの上側を通してください。

注 意

接続金具をはずした場合は、水抜ジョイントをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。

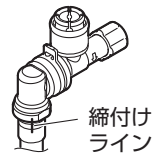


注 意

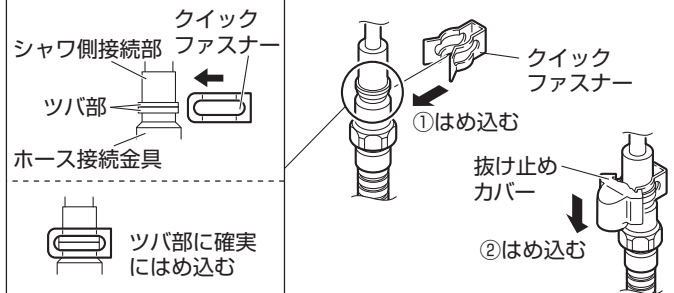
ホース接続金具（寒冷地用は水抜ジョイント）とシャワホースをはずした場合は、回らなくなるまで締付けた後、工具などで確実に締付けてください。（締付けトルクの目安：1.5N・m 締付けラインを目安に締付けてください。）

締付け
ライン

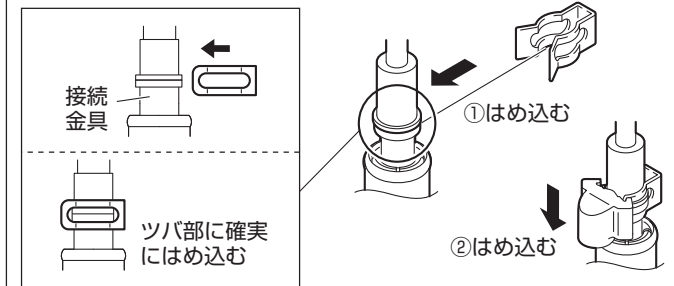
■ 寒冷地用の場合



- (2) クイックファスナーをシャワ側接続部とホース接続金具（寒冷地用は接続金具）の接続部（ツバ部）にカチッと音がするまで、確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



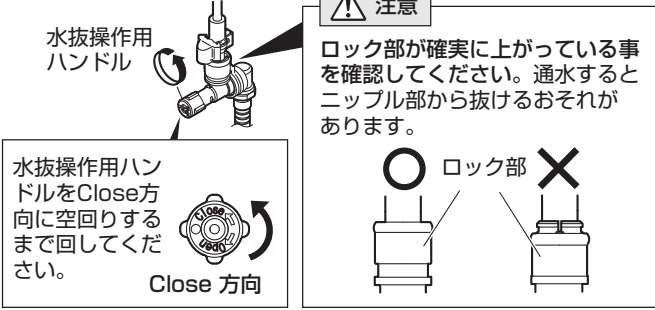
■ 寒冷地用の場合



注 意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- シャワホースを下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。
- シャワヘッドを引き出し、シャワホースがスムーズに動くか確認してください。シャワホースがスムーズに動かない場合は、給水・給湯ホースを左右に広げて、シャワホースの通る空間を確保してください。銅管に引っ掛かる場合は、銅管を曲がらない程度に広げてください。

■ 寒冷地用の場合

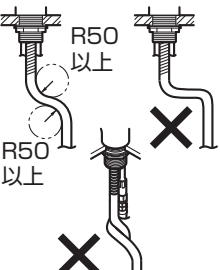


注 意

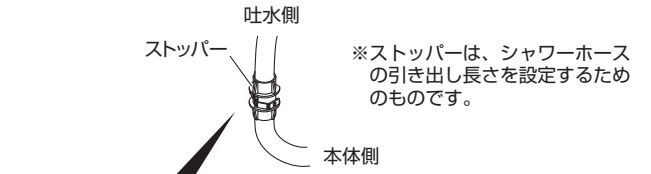
シャワホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

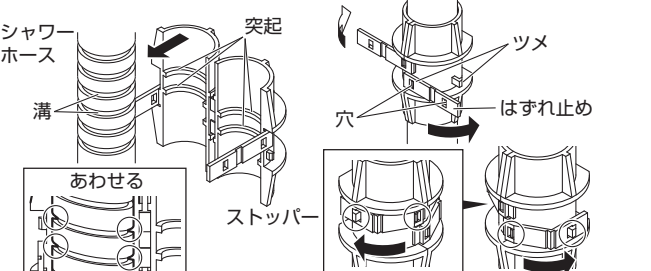
- シャワホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- シャワホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。



- (3) シャワホースにストッパーを取付けます。



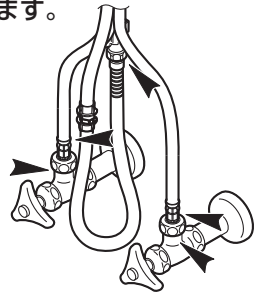
- 1 ストッパーの突起とシャワホースの溝をあわせて、はさみ込みます。
- 2 はずれ止めの穴にツメを入れます。（右側2箇所、左側2箇所）



7 ガタツキ・水漏れチェックをします。

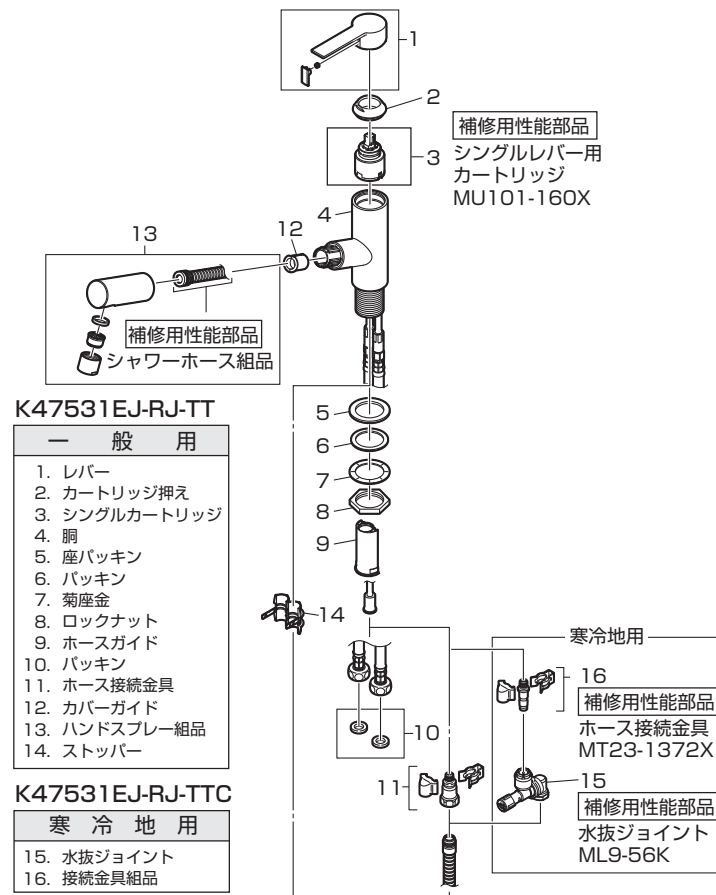
接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

確認
ガタツキはないか
水漏れはないか



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

TEL 大阪 (06)6976-8661

TEL 東京 (03)3683-7496